

2025 年 1 月 27 日

株式会社フジ・メディア・ホールディングス
代表取締役社長 金光 修 殿

株式会社フジテレビジョン
代表取締役社長 清水 賢治 殿（※）

株式会社フジ・メディア・ホールディングス 独立社外取締役
伊東 信一郎
清田 瞭
熊坂 隆光
齋藤 清人
島谷 能成
茂木 友三郎
吉田 真貴子
（五十音順）

ガバナンスの立て直しと信頼回復に向けた緊急の対応に関する提言

今般、問題となっているタレントと女性のトラブルとそれに対する会社の対応、対外説明の在り方は会社の経営及び社会的信頼に深刻な影響を与えており、企業ガバナンスの立て直しと信頼回復に向けた取組を加速する必要があります。

これまで、社外取締役は連名で、臨時取締役会の開催、事案に関するフジテレビジョン関係者の関与を含めた調査、独立した第三者委員会の設置等を求め、これを踏まえ、先般の臨時取締役会では第三者委員会の設置を決定したところであります。また、第三者委員会の設置の決定について速やかな対外説明を行うこと、代表取締役の経営責任を明らかにすべきこと等について提言を行って参りました。

今般、経営責任を明らかにする観点から、フジテレビの代表取締役2名が辞任することとなりました。今後、経営の立て直しに向けた具体的な取組を更に急ぐ必要があります、このためには、第三者委員会の調査と並行してガバナンスの立て直しに向けた取組をできることから果断に実施するとともに、あらゆるステーク

ホルダーから信頼される新たな経営陣の人選、適時適切な対外説明による透明性の確保を急ぐ必要があります。

社外取締役としては、上記について引き続き経営の監督を行い、経営陣が適切な対応を行っているかチェックするとともに、必要な提言を行って参ります。このため、定例の取締役会とは別に、随時、臨時取締役会を開催することを求めます。また、取締役会の下に全社外取締役をメンバーとする「経営刷新小委員会」を設け、機動的な調査、提言を行う体制を整えることを求めます。

さらに、4月をメドにスタートする新たな経営陣の人選は極めて重要であり、開かれた会見の定期的実施など徹底した透明性ある経営を実現し、人権を尊重し、社内外から信頼され、会社の信頼回復を実現できる人材を選ぶ必要があります。今後、候補者の面談など必要な調査を実施しすることといたく、スケジュールの明確化と会社側の適切な情報提供を求めます。

以上

※清水賢治氏は 2025 年 1 月 28 日就任。